

評価のまとめ

1、「はい」が多かった点

- 100% 4「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで支援計画が作成されているか」
- 93% 7「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか」
- 17「子どもは通所を楽しみにしているか」
- 87% 5「活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」
- 12「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」
- 13「定期的に行事予定・自己評価の結果を子どもや保護者に発信している」
- 14「個人情報に十分注意しているか」
- 18「事業所の支援に満足しているか」

- 【評価】
- 1、支援計画が子どもや保護者に寄り添った中で作成されている
 - 2、利用について丁寧な説明がなされている
 - 3、活動内容が工夫されている
 - 4、保護者に情報伝達がなされている
 - 5、個人情報に注意している

2、「はい」が少なかった点

- 13% 6「障害のない子どもと活動する機会があるか」
- 40% 16「非常災害の発生に備え、定期的避難訓練が行われているか」
- 53% 15「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」

- 【評価】
- 1、障害がない子どもたちと接する機会が少ない
 - 2、「非常時の備え」に対する情報発信が不足している

3、「いいえ」と指摘された点

- 7% 6「障害のない子どもと活動する機会があるか」
- 7% 7「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか」
- 7% 16「非常災害の発生に備え、定期的避難訓練が行われているか」
- 7% 15「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」

【改善する点】

- 1、障害がない子どもたちと接する機会が少ないに対しては、ご意見の中に「長期休暇に中学生、高校生、大学生のボランティアさんと接する機会があればいいなあと思いました」というものもあり、夏休みの活動の中で若者にボランティアに参加してもらって接する機会を作る。
- 2、利用開始時に丁寧な説明を行い、質問には真摯に答える
- 3、「非常時の備え」に対しては、「避難訓練」を定期的に年1回行っていく、非常時対応マニュアルを掲示したり、常時見れるようにファイルを置いておく。